

を求めている。こうした女性が結婚や出産に二の足を踏むのは、パートナーは欲しいし結婚もしたいとは思っているものの、それによりライフスタイルを変えなければならないことへの不安があるためである。

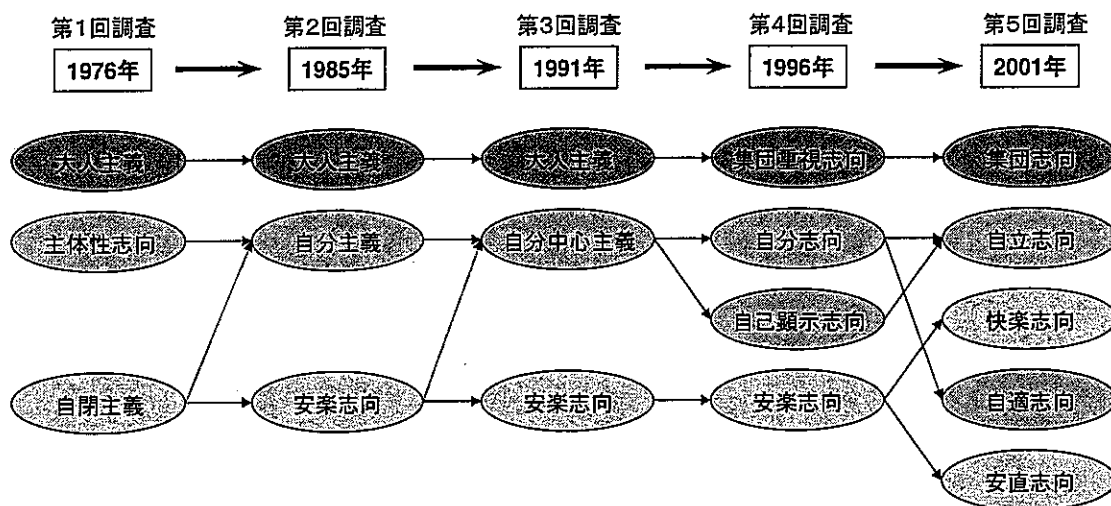
### (3) 教育の重要性

- 税や社会保険料を通じて社会を支えていくのが大人の責任であるといったことを、教育を通じて育んでいくべきでないか。

## 価値観の変遷

- 「伝統的な集団重視の価値観」と「集団よりも個人を重視する価値観」
- 個人を重視する価値観から、自適志向が登場(豊かな時間、スローライフ)
- 安楽志向(責任や努力を回避する価値観) → 快楽志向と安直志向への分離

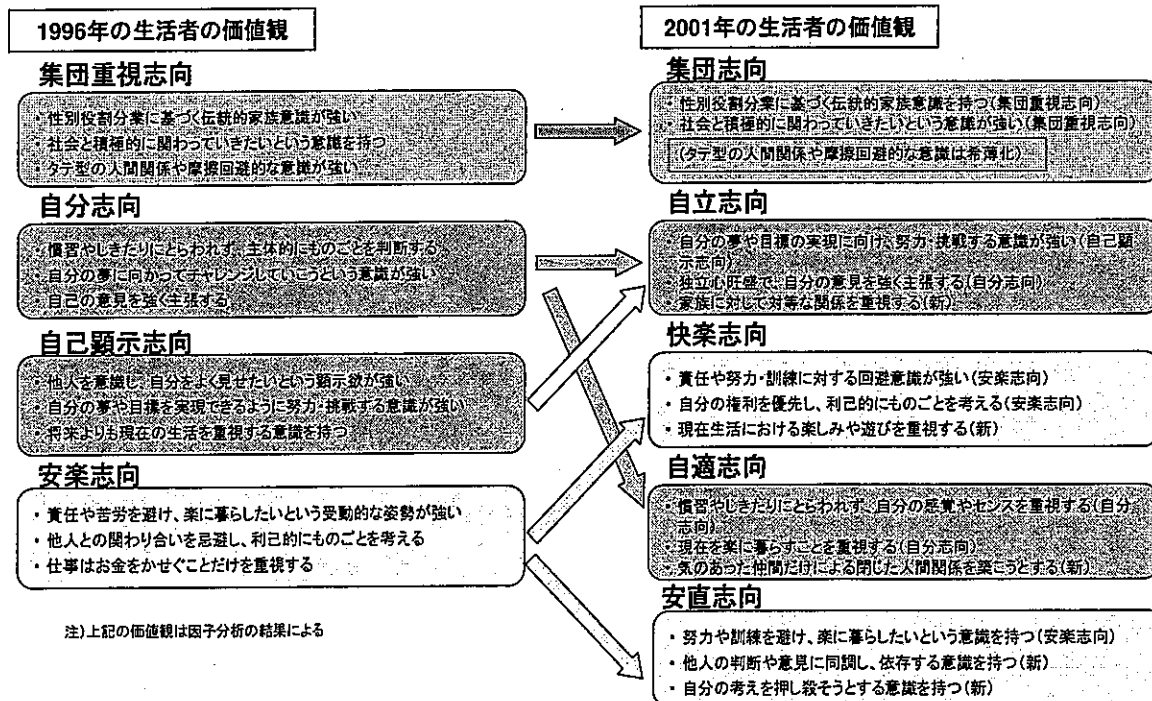
### [価値観の変遷]



(出所)株式会社野村総合研究所 日戸浩之上級コンサルタント プレゼンテーション資料(平成16年3月16日 税制調査会第8回基礎問題小委員会)  
 (原典)生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」(2002年)

## 日本人の価値観の特徴

### [2001年調査と1996年調査の価値観との関連性]



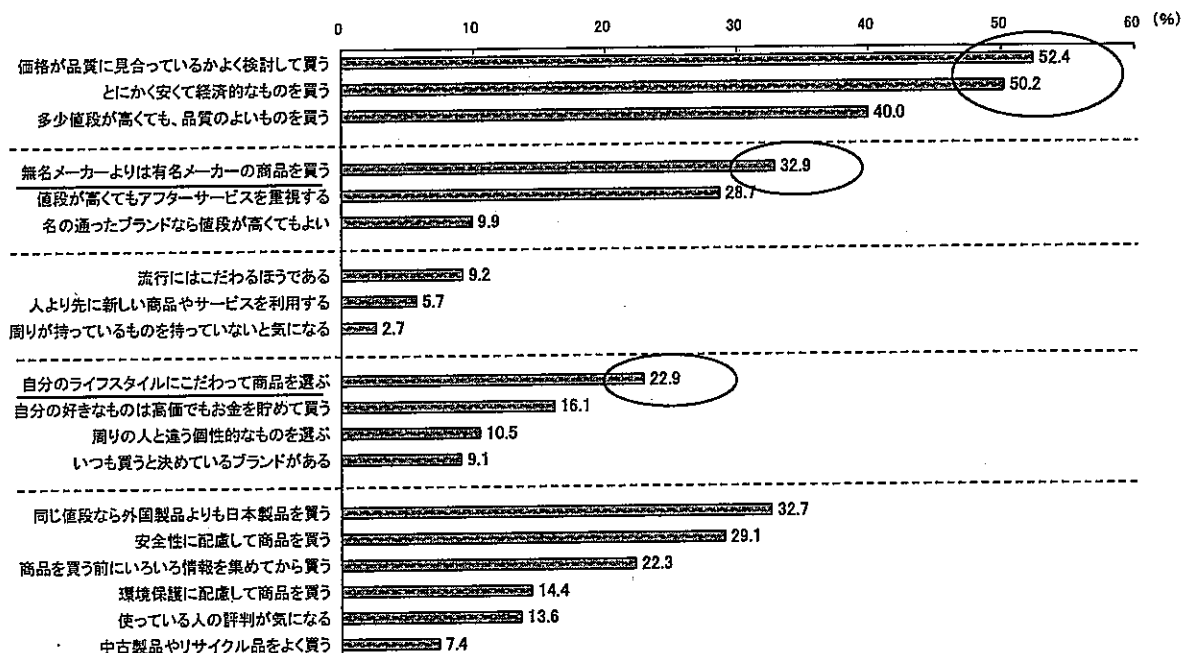
注)上記の価値観は因子分析の結果による

注: (新)は1996年の価値観にみられなかった新しい特徴

(出所)株式会社野村総合研究所 日戸浩之上級コンサルタント プレゼンテーション資料(平成16年3月16日 税制調査会第8回基礎問題小委員会)  
 (原典)生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」(2002年)

消費スタイル

消費行動においては、「値ごろ感(リーズナブル)」、「有名ブランドメーカー(他者を気にする意識)」、「自分のライフスタイル(こだわり)」等の要因が大きく影響

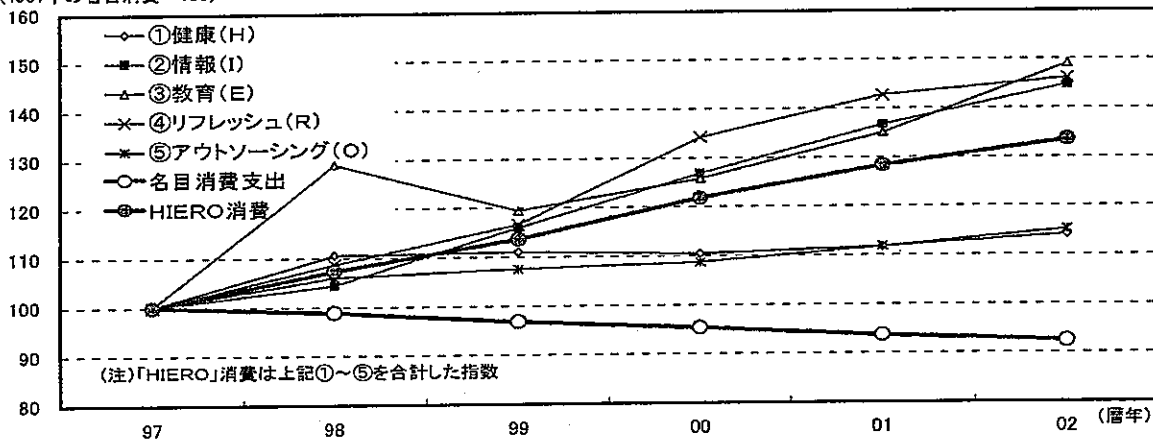


(備考) 全国15~69歳の男女に対する調査。(サンプル数10,021人 調査時期2000年5月)

(出所) 野村総合研究所「続・変わりゆく日本人—生活者—万人にみる日本人の価値観・消費行動—」219ページの図をもとに作成

家計消費支出における近年の特徴

(1997年の名目消費=100)

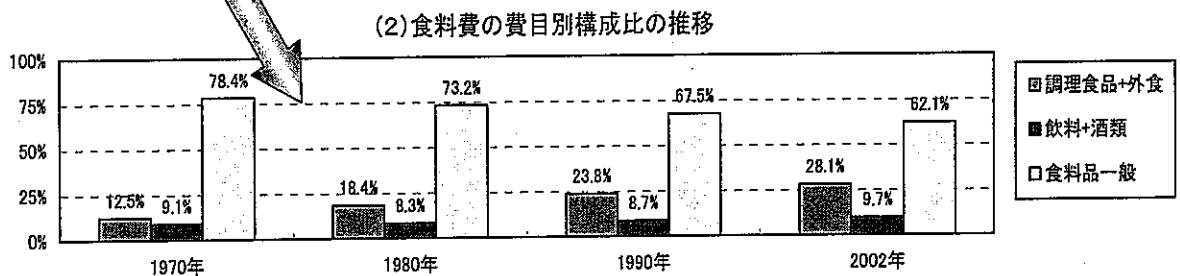
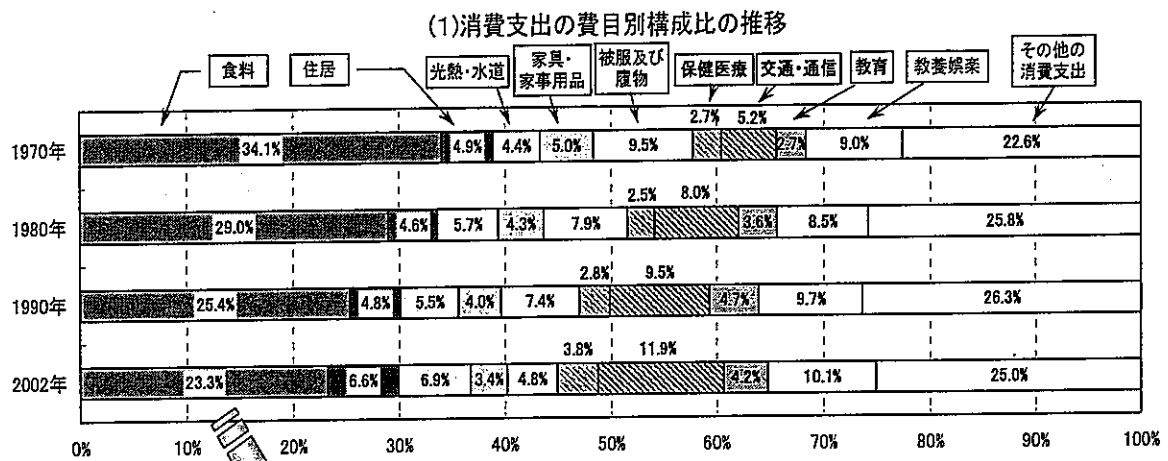


(注)「HIERO」消費は上記①~⑤を合計した指数

項目	消費者の欲求(項目の定義)	消費の具体例
Health	<ul style="list-style-type: none"> <li>手軽に日常の中で健康を高めたい</li> <li>体調を快適に保ちたい</li> <li>体がいいものを摂取したい</li> <li>生活習慣病などを予防したい</li> </ul>	緑茶、ウーロン茶などの「茶飲料」、栄養剤やサプリメントなどの「健康保持用摂取品」、ヨーグルト、フィットネスクラブの利用料等
Information	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを深めたい</li> <li>より多くの情報をより早く手に入れたい</li> <li>情報を受け取るだけでなく自らも発信したい(情報の「双方向性」への需要)</li> </ul>	パソコン、電話通話料(インターネット接続料)、携帯電話をはじめとする「通信機器」等
Education	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供に立派な教育を受けさせたい</li> <li>企業内でのプレゼンスを高めたい</li> <li>ビジネスで役に立つ優れた技術、能力を身につけたい</li> </ul>	英会話教室などの「語学月謝」、大学の公開講座・講演会などの受講料等
Refresh	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスから開放されたい</li> <li>日常生活の中で手軽な「癒し」が欲しい</li> <li>趣味で生活を充実させたい</li> </ul>	発泡酒、缶チューハイなどの「その他の酒」、「ペット関連用品」、観葉植物などの「園芸関連(ガーデニング)用品」、カメラ、ゲーム機、カラオケセットなどの「趣味関連用品」等
Outsourcing	<ul style="list-style-type: none"> <li>家事や育児から解放されたい</li> <li>自由な時間を仕事や趣味に活かしたい</li> </ul>	弁当、惣菜、レトルト食品などの「調理食品」、「保育費用」等

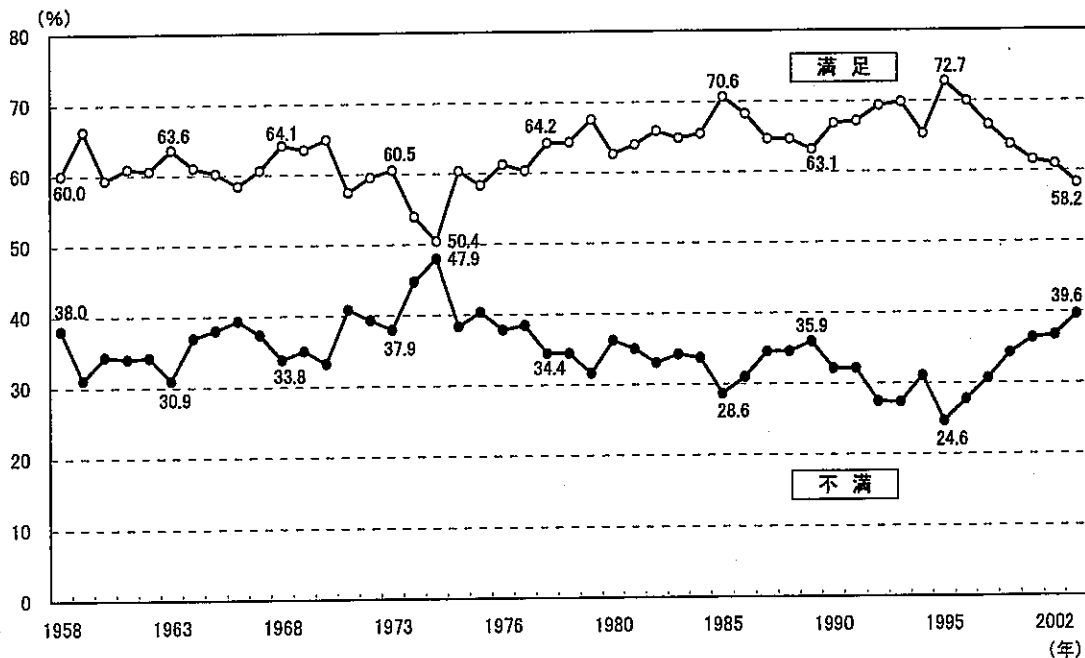
(出所) 株式会社住友生命総合研究所「経済ウォッチング 2003年6月15日」より引用

消費支出及び食料品の費目別構成比の推移



(出所) 総務省「家計調査年報」

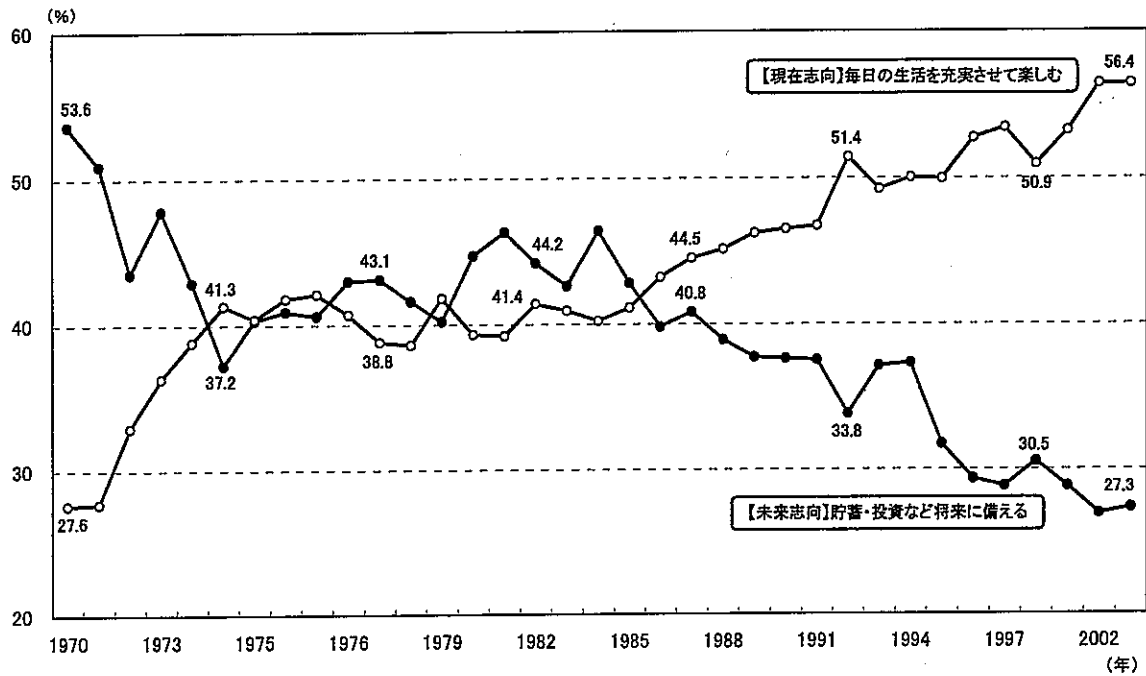
現在の生活満足度の変化(全体)



(備考) 「あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。」という問に対する回答者の割合。「満足」は、「満足している」「まあ満足している」と回答した人の合計。「不満」は、「やや不満だ」「不満だ」と回答した人の割合の合計。  
2003年:全国20歳以上の者10,000人に対して個別面接聴取により調査(有効回収数7,030人(70.3%))。

(出所) 内閣府「国民生活に関する世論調査」

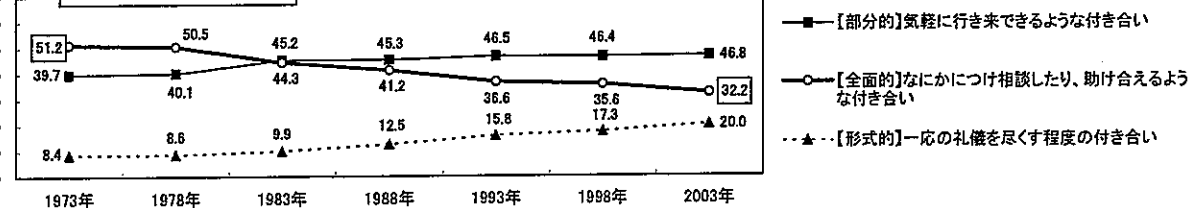
「未来志向」が「現在志向」かについての意識の変化(全体)



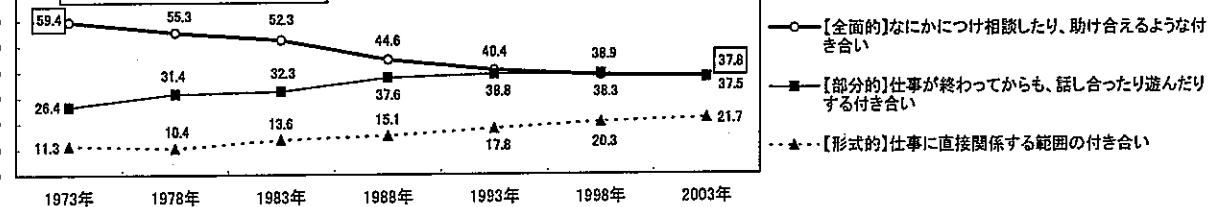
(備考) 「あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。」という問に対する回答者の割合。  
2003年:全国20歳以上の者10,000人に対して個別面接聴取により調査(有効回収数7,030人(70.3%))。  
(出所) 内閣府「国民生活に関する世論調査」

人間関係に関する意識の変化

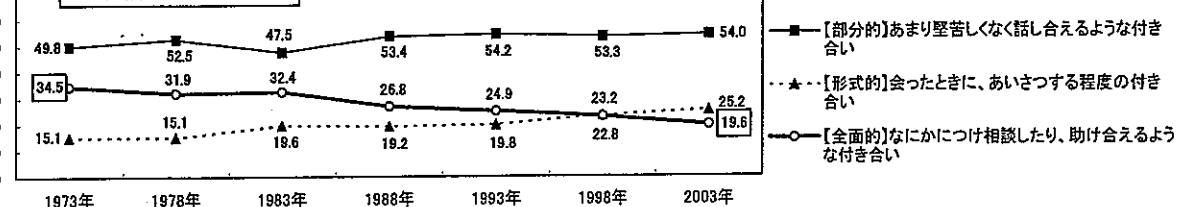
親せきとのつきあい



職場の同僚とのつきあい



近隣とのつきあい



(備考) 全国16歳以上の国民5,400人に対して個人面接法により調査(調査有効数3,319人(61.5%))。調査時期2003年6月。  
(出所) NHK放送文化研究所「第7回 日本人の意識・2003」調査報告書